

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月20日

上場会社名 神姫バス株式会社 上場取引所 大証二部
 コード番号 9083 URL <http://www.shinkibus.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上杉 雅彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 長尾 真 TEL (079) 223 - 1243

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	9,981	△ 2.8	598	△ 8.8	617	△ 5.9	350	△ 0.7
19年3月期第1四半期	10,270	9.6	655	12.9	656	15.0	352	△ 0.4
19年3月期	41,202	9.4	1,633	1.7	1,602	△ 0.6	1,331	△ 8.1

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	12.42	—
19年3月期第1四半期	12.50	—
19年3月期	47.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	40,421	25,340	62.4	894.62
19年3月期第1四半期	39,872	23,985	59.9	845.55
19年3月期	40,283	24,884	61.5	878.34

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	1,674	△ 409	△ 485	6,593
19年3月期第1四半期	—	—	—	—
19年3月期	3,750	△ 1,848	△ 1,546	5,814

(注) 第1四半期財務・業績の概況における連結キャッシュ・フローの開示は当期より行っているため、前年同四半期の実績については記載しておりません。

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日） 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	20,400	△ 1.2	810	△ 26.4	830	△ 22.8	290	△ 49.3	10.28
通期	41,500	0.7	1,570	△ 3.9	1,590	△ 0.8	1,230	△ 7.6	43.60

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成19年5月17日に公表しました連結の中間期業績予想を、本資料において修正しています。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件等に関する事項、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、4 ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の増加に加え、雇用情勢も改善に広がりが見られるなど、景気は緩やかながら拡大を続けております。しかしながら、依然として高止まりが続く原油価格の動向が経済に与える影響は大きく、特に運輸業界におきましては企業収益を圧迫する要因となっており、厳しい状況のまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループはより一層の増収策に努めるとともに、経費の節減並びに経営全般の効率化に積極的に取り組んでまいりましたが、当第 1 四半期の売上高は前年同期比 288 百万円 ($\Delta 2.8\%$) 減の 9,981 百万円、営業利益は前年同期比 57 百万円 ($\Delta 8.8\%$) 減の 598 百万円、経常利益は前年同期比 38 百万円 ($\Delta 5.9\%$) 減の 617 百万円、四半期純利益は前年同期比 2 百万円 ($\Delta 0.7\%$) 減の 350 百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次の通りであります。

(自動車運送事業)

乗合バス部門におきまして、公営バスからの路線の譲り受けや雇用環境の改善による通勤利用をはじめとした定期旅客が増加したこと等によって増収となり、売上高は前年同期比 162 百万円 (3.3%) 増の 5,146 百万円となりました。しかしながら、営業利益は人件費及び燃料費の増加、タクシー部門の運転士不足による稼働率低下等により前年同期比 24 百万円 ($\Delta 9.4\%$) 減の 239 百万円となりました。

(車両物販・整備業)

整備部門は公営バスからの路線の譲り受けによる整備車両数の増加等により増収となりましたが、車両物販部門は新車販売、部品販売が大幅に落ち込み減収となり、売上高は前年同期比 83 百万円 ($\Delta 5.5\%$) 減の 1,449 百万円となりました。しかしながら、営業利益につきましては、売上総利益率が改善したことや経費節減に努めたこと等により前年同期比 28 百万円 (61.8%) 増の 73 百万円となりました。

(業務受託・介護事業)

車両運行管理部門は競争激化によって請負価格が低下したことにより減収となりましたが、経営受託部門は指定管理者制度により 5 施設の公共施設を新たに受託したこと、また、介護部門は営業活動を強化したことにより増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比 10 百万円 (2.2%) 増の 502 百万円、営業利益はほぼ前期並の 53 百万円となりました。

(不動産業)

賃貸部門はほぼ前年同期並の売上高を確保しましたが、販売部門は分譲土地販売数が減少したことにより減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比 193 百万円 ($\Delta 20.9\%$) 減の 732 百万円、営業利益は前年同期比 32 百万円 ($\Delta 11.6\%$) 減の 244 百万円となりました。

(レジャーサービス業)

飲食部門における「まいどおおきに食堂」、レンタル部門における「TSUTAYA」の F C 事業は堅調に推移しました。しかしながら、遊技場部門では法規制による機種制限の影響で減収傾向が続き、旅行部門でも国内主催旅行の集客減により減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比 149 百万円 ($\Delta 5.6\%$) 減の 2,525 百万円となり、営業損益につきましては前年同期比 29 百万円減の 9 百万円の営業損失となりました。

(その他事業)

公営バスからの路線の譲り受けや指定管理者制度による公共施設の運営受託に伴い清掃・警備業務が拡大したこと等により、売上高は 307 百万円、営業利益は 11 百万円となり前年同期をやや上回る結果となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(全般の状況)

当第 1 四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 138 百万円増の 40,421 百万円となりました。増減の主なものは、現金及び預金の増加 799 百万円、投資有価証券の時価評価等による増加 353 百万円、補助金未収の減少 736 百万円、減価償却費の計上等による有形固定資産残高の減少 138 百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ 317 百万円減の 15,081 百万円となりました。増減の主なものは、賞与引当金の増加 553 百万円、借入金の返済による減少 408 百万円、未払法人税等の減少 378 百万円等であります。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末に比べ 455 百万円増の 25,340 百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 1 四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 778 百万円増加し、6,593 百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 617 百万円に非資金項目である減価償却費等を調整した結果、1,674 百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により 409 百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等により 485 百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

中間連結業績予想につきましては、レジャーサービス業・遊技場部門の法規制による機種制限の影響が大きく、また不動産業における分譲土地建物の販売が計画を下回る見込みのため、売上高は当初の予想を下回る見込みであります。利益面では、売上総利益率の改善や経費節減等により営業利益、経常利益はほぼ予想通りを見込んでおりますが、中間純利益につきましては、「棚卸資産の評価に関する会計基準」を早期適用することによる影響額が予想以上に発生する見込みであること、また土地の収用時期が下期以降へずれ込むこと等により予想を下回る見込みです。

なお、通期の連結の業績予想につきましては、現時点では平成 19 年 5 月 17 日に公表した業績予想を変更しておりません。今後の事業環境や収益見通し等を見極め、業績予想の修正の必要性があれば速やかに通期業績予想の修正を開示いたします。

平成 19 年 5 月 17 日の決算短信で発表しました中間期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成 20 年 3 月期 連結中間業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,800	800	800	380	13.47
今回修正予想 (B)	20,400	810	830	290	10.28
増減額 (B-A)	△400	10	30	△90	—
増減率 (%)	△1.9	1.3	3.8	△23.7	—
前中間期実績	20,642	1,101	1,075	571	20.24

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
引当金、法人税等の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別 前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	前期末 (平成19年3月期末)	増 減	
				金 額	増減率
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	6,483	6,908	6,109	799	
受取手形及び売掛金	1,792	1,629	1,731	△ 101	
未収運賃	510	548	637	△ 88	
有価証券	79	70	90	△ 20	
たな卸資産	610	441	448	△ 7	
経営土地建物	2,013	1,945	1,936	9	
その他の	872	875	1,587	△ 712	
貸倒引当金	△ 15	△ 16	△ 16	0	
流動資産合計	12,348	12,403	12,525	△ 122	△ 1.0
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
建物及び構築物	6,899	6,596	6,681	△ 85	
機械装置及び器具備品	610	601	591	9	
車両	1,572	1,453	1,563	△ 109	
土地	13,007	13,003	12,978	24	
建設仮勘定	6	44	22	22	
有形固定資産合計	22,096	21,699	21,838	△ 138	△ 0.6
2. 無形固定資産	515	435	456	△ 20	△ 4.6
3. 投資その他の資産					
投資有価証券	3,427	3,893	3,540	353	
その他	1,518	2,207	2,140	66	
貸倒引当金	△ 34	△ 216	△ 217	0	
投資その他の資産合計	4,911	5,883	5,463	420	7.7
固定資産合計	27,523	28,018	27,757	260	0.9
資産合計	39,872	40,421	40,283	138	0.3

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	前期末 (平成19年3月期末)	増 減	
		金 額	金 額	金 額	金 額	増減率
	(負債の部)					
I	流 動 負 債					
	支払手形及び買掛金	1,227	972	1,073	△ 100	
	短期借入金	694	545	653	△ 108	
	1年内返済予定の長期借入金	1,648	1,124	1,425	△ 300	
	未払金	2,071	2,151	2,453	△ 301	
	未払法人税等	309	288	666	△ 378	
	賞与引当金	1,279	1,326	773	553	
	その他の	1,947	2,063	1,819	243	
	流動負債合計	9,176	8,473	8,865	△ 391	△ 4.4
II	固 定 負 債					
	長期借入金	2,732	2,609	2,609	—	
	退職給付引当金	294	378	386	△ 8	
	役員退職慰労引当金	253	250	281	△ 30	
	受入保証金等	2,387	2,148	2,150	△ 2	
	その他の	1,041	1,221	1,105	115	
	固定負債合計	6,709	6,608	6,534	74	1.1
	負債合計	15,886	15,081	15,399	△ 317	△ 2.1
	(純資産の部)					
I	株 主 資 本					
	資本金	2,420	2,420	2,420	—	
	資本剰余金	1,529	1,529	1,529	—	
	利益剰余金	18,952	20,140	19,860	279	
	自己株式	△ 185	△ 205	△ 201	△ 3	
	株主資本合計	22,715	23,884	23,607	276	1.2
II	評 価 ・ 換 算 差 額 等					
	その他有価証券評価差額金	1,156	1,346	1,168	178	
	評価・換算差額等合計	1,156	1,346	1,168	178	15.2
III	少 数 株 主 持 分	113	109	108	1	1.3
	純 資 産 合 計	23,985	25,340	24,884	455	1.8
	負債、純資産合計	39,872	40,421	40,283	138	0.3

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売 上 高		10,270	9,981	△ 288	△ 2.8	41,202
自動車運送事業収益		4,962	5,125	163		19,456
売 上 高		5,308	4,855	△ 452		21,746
II 売 上 原 価		7,559	7,265	△ 294	△ 3.9	30,716
運 送 費		3,779	3,930	150		15,483
売 上 原 価		3,779	3,335	△ 444		15,232
売 上 総 利 益		2,710	2,715	5	0.2	10,486
III 販売費及び一般管理費		2,054	2,117	62	3.1	8,852
営 業 利 益		655	598	△ 57	△ 8.8	1,633
IV 営 業 外 収 益		40	54	14	35.3	148
受取利息及び受取配当金		16	23	7		39
持分法による投資利益		1	8	7		13
そ の 他		22	22	△ 0		95
V 営 業 外 費 用		40	35	△ 4	△ 11.5	179
支 払 利 息		16	14	△ 1		63
そ の 他		23	20	△ 2		116
経 常 利 益		656	617	△ 38	△ 5.9	1,602
VI 特 別 利 益		—	2	2	—	1,212
VII 特 別 損 失		39	2	△ 37	△ 93.7	358
税金等調整前四半期(当期)純利益		616	617	1	0.2	2,456
法 人 税 等		262	266	3	1.3	1,128
少 数 株 主 利 益		0	1	0	38.0	—
少 数 株 主 損 失		—	—	—	—	4
四半期(当期)純利益		352	350	△ 2	△ 0.7	1,331

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第1四半期連結会計期間(自平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金		
平成18年3月31日残高	2,420	1,529	18,755	△ 183	22,520	1,335	114	23,970
四半期中の変動額								
剰余金の配当			△ 84		△ 84			△ 84
役員賞与			△ 71		△ 71			△ 71
四半期純利益			352		352			352
自己株式の取得				△ 2	△ 2			△ 2
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)						△ 178	△ 0	△ 179
四半期中の変動額合計			197	△ 2	195	△ 178	△ 0	15
平成18年6月30日残高	2,420	1,529	18,952	△ 185	22,715	1,156	113	23,985

当第1四半期連結会計期間(自平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金		
平成19年3月31日残高	2,420	1,529	19,860	△ 201	23,607	1,168	108	24,884
四半期中の変動額								
剰余金の配当			△ 70		△ 70			△ 70
四半期純利益			350		350			350
自己株式の取得				△ 3	△ 3			△ 3
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)						178	1	179
四半期中の変動額合計			279	△ 3	276	178	1	455
平成19年6月30日残高	2,420	1,529	20,140	△ 205	23,884	1,346	109	25,340

前連結会計年度(自平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金		
平成18年3月31日残高	2,420	1,529	18,755	△ 183	22,520	1,335	114	23,970
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 84		△ 84			△ 84
剰余金の配当(中間配当)			△ 70		△ 70			△ 70
役員賞与			△ 71		△ 71			△ 71
当期純利益			1,331		1,331			1,331
自己株式の取得				△ 18	△ 18			△ 18
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 166	△ 6	△ 173
連結会計年度中の変動額合計			1,105	△ 18	1,086	△ 166	△ 6	913
平成19年3月31日残高	2,420	1,529	19,860	△ 201	23,607	1,168	108	24,884

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
		金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益		617	2,456
減価償却費		379	1,559
賞与引当金の増加額		553	12
売上債権の増減額(増加：△)		190	△ 484
仕入債務の減少額		△ 100	△ 144
未払金の増減額(減少：△)		△ 262	228
未払消費税等の増減額(減少：△)		△ 284	104
その他		1,230	911
小 計		2,324	4,642
法人税等の支払額		△ 654	△ 873
その他		4	△ 18
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,674	3,750
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△ 377	△ 1,725
その他		△ 31	△ 122
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 409	△ 1,848
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる収入		40	1,217
短期借入金の返済による支出		△ 148	△ 1,708
長期借入れによる収入		—	1,410
長期借入金の返済による支出		△ 300	△ 2,057
配当金の支払額		△ 70	△ 155
その他		△ 6	△ 251
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 485	△ 1,546
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—
V 現金及び現金同等物の増加額		778	355
VI 現金及び現金同等物の期首残高		5,814	5,458
VII 現金及び現金同等物の期末残高		6,593	5,814

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成19年3月期第1四半期)

(単位：百万円)

	自動車運送事業	車両物販・整備業	業務受託・介護事業	不動産業	レジャーサービス業	その他事業	計	消去又は全	は社	連結
売上高										
(1) 外部顧客に対する売上高	4,962	1,161	477	859	2,622	187	10,270	—		10,270
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	22	371	14	66	52	117	644	(644)		—
計	4,984	1,533	491	926	2,674	305	10,915	(644)		10,270
営業費用	4,719	1,487	438	649	2,654	294	10,243	(629)		9,614
営業利益	264	45	53	276	19	10	671	(15)		655

当四半期 (平成20年3月期第1四半期)

(単位：百万円)

	自動車運送事業	車両物販・整備業	業務受託・介護事業	不動産業	レジャーサービス業	その他事業	計	消去又は全	は社	連結
売上高										
(1) 外部顧客に対する売上高	5,125	1,053	488	662	2,475	175	9,981	—		9,981
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	21	395	14	70	50	132	683	(683)		—
計	5,146	1,449	502	732	2,525	307	10,664	(683)		9,981
営業費用	4,907	1,375	449	487	2,534	296	10,050	(667)		9,383
営業利益又は営業損失(△)	239	73	53	244	△ 9	11	614	(15)		598

(参考) 前期 (平成19年3月期)

(単位：百万円)

	自動車運送事業	車両物販・整備業	業務受託・介護事業	不動産業	レジャーサービス業	その他事業	計	消去又は全	は社	連結
売上高										
(1) 外部顧客に対する売上高	19,456	4,928	1,859	3,443	10,723	792	41,202	—		41,202
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	105	1,615	71	284	240	462	2,779	(2,779)		—
計	19,561	6,543	1,930	3,727	10,963	1,255	43,982	(2,779)		41,202
営業費用	19,537	6,468	1,724	2,521	10,815	1,208	42,274	(2,705)		39,569
営業利益	24	75	205	1,206	148	47	1,707	(74)		1,633

(注) 1. 事業区分は、機能別かつ内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 自動車運送事業 ----- 一般乗合・貸切・乗用・特定旅客運送、郵便物の運送、一般乗合受託
- (2) 車両物販・整備業 ----- 自動車部品・タイヤの販売、自動車の修理、保険代理
- (3) 業務受託・介護事業 ----- 自動車の運転・保守管理、経営受託、介護
- (4) 不動産業 ----- 土地造成、建物の建築、土地・建物の売買、賃貸、仲介及び管理
- (5) レジャーサービス業 ----- 高速道路売店等における物販を含む飲食業、遊技場、旅行業、レンタル業、索道業
- (6) その他事業 ----- 食料品・雑貨・化粧品等の物品販売、広告代理、清掃・警備、フィットネス事業